

【Zigzag memo 068】 得意なことで全力投球

私は 2015 (H27) 年度と、2016 (H28) 年度の 1 期 2 年間の吾が「上桜田町内会」——当時、約 500 世帯 (持ち家 300+世帯、借家・アパート 200+戸) の会員——の副会長兼総務部長 (執行役員 6 名中の一角) の任に就いた。矜持・自負を持って言えるその実施結果 (成果) の要点を以下に記載した。

この期間中、私の取組みは、悉く前代未聞の、前例にない画期的な活動内容であった——従来の情報提供 (回覧) と言え、定時総会の案内くらいであった。——ことから、複数の役員 OB (三役経験者) からとても不愉快な嫌がらせを複数回受けた。

異口同音に“大沼、ほげだ格好いいことすんな、後の人、困っぺや”しかし、私は怯まなかった。

その心理を読めた、「還暦を過ぎていい歳になっても、ねたみ・ひがみ・しょねみ・やっかみ・ヤキモチがこびり付いた根性曲りの「ねいじん」性格の丸出しであったのだ。この世のみんな、それぞれは得手不得手がある、特技を持っている、その得手に何の強弱があろうか、あるはずはない！ その特技・得手を以ってその立場において全力投球をするというのは当然、当り前のことだろう。そのような「ねいじん」性格の人は、素直に他人の良い処を受け入れることが出来ない、自分より上手が表れることを不安視する・恐怖感を覚えることからの障害壁予防線を張る、邪魔者扱いにする心理なのだ、情けないことだ。ねたみ・ひがみ・しょねみは、健全な人は努力に変えるのだ。他人の足を引っ張らないのだ。

《 私が取り組んだ実施結果 》

1. 年会費等の改定

図(表)－1 のとおりに**会員の負担軽減を図るべく年会費の引下げを行った、原資確保の一つとして執行役員の手当引き下げを行った。** (しかし、後を引き継いだ執行部は執行役員の手当てを平成 27 年度と同額に復帰させてしまったのは残念である。)

項 目		平成 27 年度	平成 28 年度
a. 年会費の削減	持ち家戸建	7, 0 0 0 円	6, 5 0 0 円
	借家・アパート	3, 5 0 0 円	3, 2 5 0 円
b. 執行役員 手当の削減	町内会長	8 0, 0 0 0 円	7 5, 0 0 0 円
	副会長 (2 名)	5 0, 0 0 0 円	4 5, 0 0 0 円
	部長 (3 名)	3 0, 0 0 0 円	2 5, 0 0 0 円

図(表)－1

2. 慶弔費の配分調整

図(表)－2 のとおり。

	平成 27 年度	平成 28 年度	事 由
弔 費	10[千円/人]	5 [千円/人]	・高齢化社会進展の中で弔費の増加が見込まれる事から半額にする。 ・一方で、子育て支援の観点から赤ちゃん誕生時の祝い金を創設する。
慶 費	----	5 [千円/人]	
敬老お祝い	70 歳以上	75 歳以上	・長寿社会を踏まえ、一般敬老お祝いの対象年齢を引き上げる。 ・一方で、高齢単身生活の労苦に感謝の意を表す。
80 歳以上 単身者	----	予算見合いの 現物支給	

図(表)－2

3. 運営体制構図等の作成

①組織運営体制概要図、②隣組み受け持ち区範囲、隣組単位の会員数（持ち家＋アパート）、その他の回覧板数一覧表、緊急時連絡体制網を作成した。①は6ページ（図-7）に、②は7ページ（図-8）に掲載したが、これは、会員にとっては必須の図書であり、別記する上桜田公民館内の情報共有ファイリング書庫に掲示した。

なお、①は、次の広報（情報）資料を活用し広報・周知した。

- ・「上桜田町内会報 平成27年9月1日 No. 1（創刊号）」
- ・「上桜田町内会報 平成28年6月1日 No. 4」
- ・平成28年度 上桜田町内会通常総会及び上桜田防災会通常総会の総会資料

また、②は、次の広報（情報）資料を活用し広報・周知した。

- ・「上桜田町内会報 平成28年元旦 No. 2」
- ・「上桜田町内会報 平成28年6月1日 No. 4（持ち区変更）」
- ・平成27年度 上桜田町内会通常総会及び上桜田防災会通常総会の総会資料
- ・平成28年度 上桜田町内会通常総会及び上桜田防災会通常総会の総会資料

4. 設備関係

(1) 防災庫の設置

上桜田公民館内に防災・防犯用品の収納庫を設置した。（平成27年11月完成）

(2) 上桜田公民館内女性用トイレ（1基）の洋式化を図った。（平成28年7月完成）

5. 広報活動、情報開示・情報共有

以下の（2）（3）の回覧については、従来の一般的な総会の案内という事務的なものではなく、町内会の諸行事の活動状況、あるいは、地域住民（殆どは本会員）の動向などに係る情報提供、情報共有の観点を強く意識したものである。

(1) 情報共有ファイリング書庫の設置

上桜田公民館の防災庫設置に伴い撤去した下駄箱を活用し、炊事場入口右手に設置した。重要書類の一部、下記の本会会報「かみさくらだ」、本会発信の行事・情報の回覧などを綴じた。

(2) 会報「かみさくらだ」の発刊（6件）

柴田会長の発案である、運営の基本に係る事柄を中心に運営情報を掲載し回覧した。各号の主要な内容（項目）は図(表)-3のとおり

年 度	通し番号	発行日付	主な内容
27 年度	No. 1 (創刊号)	平成27年9月1日	会長の発刊に寄せての挨拶、新組織体制（各部長挨拶・執行役員顔写真掲載、体制図）など
	No. 2	平成28年元旦	会員の活躍の状況、隣組み受け持ち区範囲図など
28 年度	No. 3	平成28年5月1日	通常総会、上桜田消防団の紹介など
	No. 4	平成28年6月1日	隣組長以上役員29名の氏名を紹介など
	No. 5	平成28年12月1日	介護予防の集い、民生委員・児童委員の紹介など
	No. 6	平成29年3月31日	柴田会長退任の挨拶、過去2年間の取り組み状況、民生委員・児童委員の受け持ち区域など

図(表)-3

(3) 当会発信の行事・情報の一般回覧(13件)

図(表)－4のとおり、上記会報を補完するものや、それ以外の行事などの情報を回覧した。

年 度	通し番号	発行日付	主な内容
27 年度	①	平成 27 年 10 月 1 日	第 1 回防災(初期消火)訓練
	②	平成 27 年 11 月 1 日	防災用品収納庫の設置
	③	平成 27 年 11 月 1 日	里山さわやかロード「林道上桜田線」の整備・作業
	④	平成 27 年 12 月 1 日	上桜田公民館の掲示物の更新による写真等の募集
	⑤	平成 28 年 2 月 15 日	上桜田に生まれた地酒
28 年度	⑥	平成 28 年 5 月 15 日	(上桜田) 月山神社例大祭、三桜田堰上げ作業
	⑦	平成 28 年 8 月 1 日	(上桜田) 月山神社境内の安全対策
	⑧	平成 28 年 8 月 1 日	上桜田公民館の女性用トイレ(1基)の洋式化
	⑨	平成 28 年 10 月 1 日	さる・サル(猿)の出没情報
	⑩	平成 28 年 10 月 1 日	地元消防団が大活躍した紹介
	⑪	平成 28 年 10 月 1 日	町内会から支給の敬老お祝い紅白饅のこと
	⑫	平成 28 年 10 月 1 日	第 2 回防災(避難)訓練、「町内会の情報連絡網(緊急時連絡体制)」
	⑬	平成 29 年 2 月 1 日	「(公式)輪投げセットの購入

図(表)－4

(4) 吾が故郷は上桜田地区の寺社シリーズの回覧

図(表)－5のとおり、長い歴史を経て地元根差して来た寺社を取り上げ、A3様式両面に記述し、10回に渡り回覧した。

年 度	通し番号	対称の寺社	発行日付
平成 27 年度	①	全体説明	平成 28 年 1 月 15 日
	②	上桜田月山神社(1)	〃 〃
	③	上桜田月山神社(2)	〃 2 月 15 日
	④	太子殿	〃 3 月 15 日
平成 28 年度	⑤	山の神社	〃 4 月 1 日
	⑥	地藏堂	〃 5 月 15 日
	⑦	熊野神社	〃 6 月 15 日
	⑧	八幡社	〃 7 月 15 日
	⑨	耕源寺(1)	〃 8 月 15 日
	⑩	耕源寺(2)	〃 9 月 15 日

図(表)－5

5. 助成金支給団体懇談会

27 年 1 月(2 回に分けて)と 28 年 5 月に、助成金支給 4 団体の役員といきいきサロン運営者(福祉部長&福祉協力員)と三役の意見交換会を行った。

6. 備品関係

上桜田公民館および芸工大前集会所に備え付けられている備品の管理台帳を整備（リスト化、ネーム貼付）した。

7. 重要書類の目録化

永久保存すべきと判断した重要書類を整理し、目録化（リスト化）を図り金庫内に保管した。同目録（リスト）を9ページ以降に記載した。

8. 上桜田公民館内の長押掲示物の更新

会員の多彩なカルチャー面の取り組みを紹介するために写真・墨書等を**募集**し掲示を図った。

（事前回覧により趣旨を周知、募集を図り、取り外したものは廃棄せず公民館内に保管している。）

9. 宗教法人月山神社関係

（1）例大祭対応

細部は別記した。

従来はお花代（多くの方の寄付・浄財）の全額は子供会の収入としていたが、一部を町内会に組み入れることとした。それとの対応で、本会役員（執行役員＋隣組長）も神輿渡御に随行・協力することにした。

（2）平成28年6月、宗教法人月山神社責任役員と三役で懇談会を実施した。

（3）同神社境内の安全対策として区画ロープを張った。

10. 会計処理のさらなる適正化

遠藤健二監事の提案を踏まえて、図-6に記載のとおり、出納の都度支出件名毎に領収書・レシートに会長・会計部長・総務部長・監事の押印をルール化し、平成28年度分から実施した。2020(令和2年)においてもこの取り組みが継続されているとのことですから大変良かったと思っている。

11. 引継ぎについて

平成29年（2017）年3月8日（水）、上桜田公民館において、新旧執行三役が引継ぎの打合せを行い、懸案事項ならびに規約・細則の改正案について、文書を以て説明し完了した。

[発行年月日] 28年3月28日 (内)

	承認	確認	起案者		
科目	町内会長	副会長(総務)	副会長(会計)	監事	監事
保険費					

保険料領収証

保険契約者	上桜田町内会 会長 柴田 和宜 様		領収証番号	[Redacted]															
			証券番号	[Redacted]															
保険の種類 (○印)	自動車	火災	傷害	所得	賠償	労働総合	労災総合	保証	信用	建設工事	機械	組立	積立火災	積立傷害	積立年金	運送	貨物	船舶	その他 ()
保険始期 (変更開始日)	平成 28 年 4 月 1 日から			保険料	百万	千	円	743720											
分割払	回数	年度	回目	団体扱	月分	※以下の場合この領収証は無効です。 ●保険契約者・保険料・領収日を訂正したもの。 ●保険契約者・保険料・領収日が複写でなく直接記入されているもの。													
保険の対象	申込書または契約内容変更依頼書 (登録番号など必要な場合は備考欄に記入します。)																		
備考																			
振込入金	(領収証発行日 平成 年 月 日)			領収日	平成 28 年 3 月 26 日														

上記保険料を領収いたしました。

共同保険幹事会社

東京都新宿区西新宿1-26-1
損害保険ジャパン日本興亜株式会社



連絡先
有限会社 アドバンス

〒994-0049 天童市南町3丁目14-5
TEL:023-616-6088 FAX:023-652-1652

この用紙は、すかし等複製防止の処理をしております。

印紙税申告納
付につき新宿
税務署承認済

内 訳

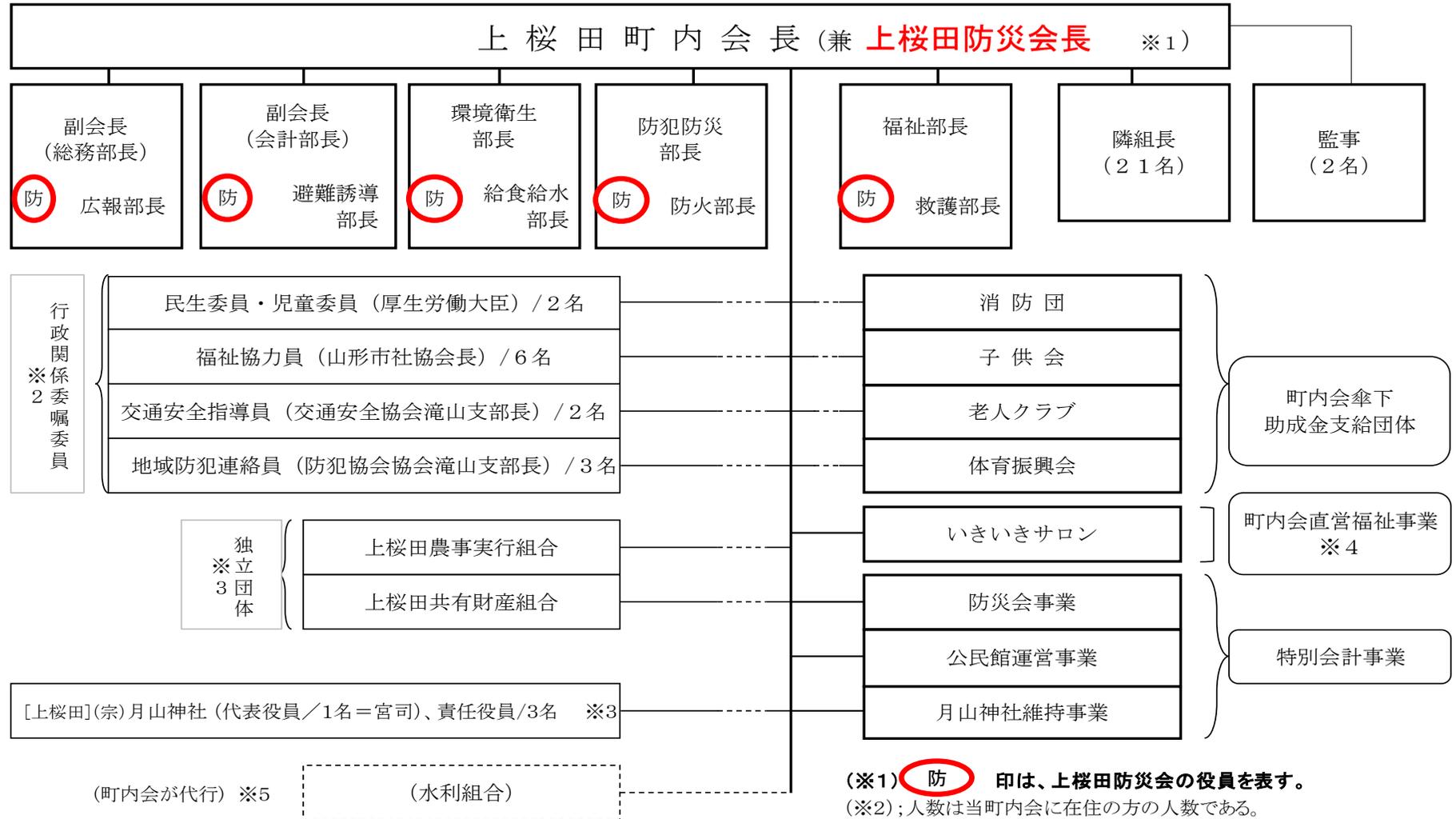
・自治会活動保険

図-6

上桜田町内会の運営（活動）に係わる組織体制の概要図

平成28年度総会資料添付

2017(平成29)年3月1日現在



(※1) 防印は、上桜田防災会の役員を表す。

(※2) ;人数は当町内会に在住の方の人数である。

(※3) 独立団体であるが、町内会活動と強い連携関係にある事から記載した。

(※4) 町内会直営であるが、総合福祉事業である事から抽出記載

(※5) 正式な組織は町内会には無いが、水利組合事業同等の役割を町内会が果たしている事から点線枠で表示した。

<注>町内会通常活動において、町内会長の直接指揮関係を伴わない場合は、直結しない表示とした。

図-7

上 桜 田 町 内 会 隣 組 み 持 ち 区 範 囲 図

(注1) 線は、土地の境界線ではありません。隣組を構成する家を概括的に囲こんだものです。
(注2) 全ての建造物を網羅し表示したものではない事から、囲みが少しずれている場合があるかもしれないのでご了承ください。



図-8

(※) (株) ゼンリン山形営業所より購入したものの抜粋です。より大きくするために縦長に拡大している。

女性の可能性 信じて

関西学院大特別客員教授、元民放キャスター 小西美穂さん講演



講演する小西美穂さん

新卒で読売テレビに入社した。キャリアのスタートは記者で、大阪府警捜査一課の担当記者になった。当時は女性というだけで目立ち、評価が厳しかった。圧倒的に抜き出ない評価されない、のであれば一億努力しようと思ひ、法律や警察に関する知識を必死に勉強した。

やましんレディースセミナー

海外特派員として32歳で来た時に準備ができていた。つまりチャンスがある。それが進路を決める。当時、日本ではまだ知名度が低かった、サッカーのデイビッド・ベッカムさんを追いかけて取材

各界の第一線で活躍する女性を講師に迎える「やましんレディースセミナー」(山形新聞主催)の2025年度第2回例会が7日、山形市のやましん県民ホールで開かれ、関西学院大特別客員教授で元民放キャスターの小西美穂さんが「報道現場で感じた『女性が輝く時代』への変化」と題して講演した。地道な努力でキャリアを積んできた経験を振り返り、「女性の可能性を信じて、機会を提供してほしい」などと社会全体に提言した。以下は講演要旨。

地道な努力、機会提供 大切



小西さんの仕事の経験に基づいた、考えや心構えを学んだレディースセミナー＝山形市・やましん県民ホール（撮影・関賢一郎）

し、報道した。私は、後段で、イラクの取材に日本でも起きた「ベッカムチームの火付け役」と言われた。特派員としてサッカー取材は脳のストレッチリーカも出来ない。でも一生懸命にやり、結果を出した。戦略を持ち、自分には出来ない仕事を、自分が出来る仕事をつくるのが大事。その時は本流の仕事ではないかもしれないが、ある時、点を繋ぐのが、自衛隊が復興支援に入る

図-9

図-9の中で、小西さんは「自分にしかできない仕事をしようと“準備”を整えることにした。」と話されている。

これだよこれ！ 「自分にしかできない仕事をしよう」と自分の特技・得手を以って、新しい取り組みを探す、挑戦するというのは、どんな立場であれ、それが生きがいややりがいに繋がるのだろう。

還暦を過ぎていい歳になったら、一々ねたみ・ひがみ・しょねみ・やっかみ・ヤキモチの幼児性のそんな気持ちが湧いたならば、“よし、俺の特技を奮い起こして、あいつをギャフンとして見せようぞ”というくらいの気概が必要だろう。それが出来ないのであれば、黙って影（うしろ）でエールを贈るくらいの度量があつてこそに貴方は立派だと称されるだろう。

私の根本は、私達一人ひとは世界第一等の配役（主人公）である。そこに何の優劣はあろうか、あるはずはない！ それぞれは特技を持っている、その得手に何の強弱があろうか、あるはずはない！ 人間性の優劣や強弱を判定できる人間はこの世に存在しないのだという考え方である。他人が出来て、自分

が出来ないからといって、相手を逆恨みする必要もなければ、返って、自虐的・卑屈になる必要もない。自分が出来ずに他人が出来たならばそのまんまを認めて相手に賛辞を贈り、他人が出来ずに自分が出来たならばそのまんまを認めて自分に賛辞を贈ればいいだけだ。なぜならば人間は、その総合力において優劣比較対象外だから。

以上に関連することは、このホームページの別サイト「(3)-3 吾が上桜田町内会」に記載している。

(end)